

モデル事業名	協働のまちづくりモデル事業
活動団体名	三芳町協働のまちづくりネットワーク
ホームページ	http://www.town.saitama-miyoshi.lg.jp/town/chosa/kyoudou_machidukuri.html
所属／ 担当者名	事務スタッフ 寺尾雅治
連絡先	(窓口) 三芳町地域振興課 049-258-0019 (267) chiiki@town.saitama-miyoshi.lg.jp
活動地域	埼玉県・入間郡・三芳町 (全域)

● 活動地域の概要

1 位置図



2 地域の特徴

元禄時代の三富新田開発の面影を残す首都近郊の緑豊かな近世開拓の里。

人口の半数以上が集中する東部地域（藤久保）では区画整理による都市基盤整備が進み、西部地域（上富）は三富開拓の名残をとどめる農村地帯が広がる。また、南東部地域には工業地帯が形成され、多彩な地域資源を有する町。合併に関する住民投票を受けて、町は自立の道を選択し、住民と行政の協働によるまちづくりがスタートした。

3 人口と世帯等 (H22.11 末現在)

- (1) 人口：38,164人 (2) 世帯：15,121世帯
- (3) 年齢構成：年少人口14.3% 生産人口64.7% 高齢人口21%
- (4) 地区別人口割合：(上富地区) 9.3%、(北永井地区) 18.1%、(藤久保地区) 55.8%
(竹間沢地区) 11.3%、(みよし台地区) 5.5%

4 公共交通の状況

鉄道駅なし（東武東上線「鶴瀬駅」「みずほ台駅」に隣接）

民間路線バス（一部町補助）、関越自動車道三芳スマートIC（普通車まで、新潟方面との出入りのみ）

5 産業別就業人口の状況 (H17.10.1)

第1次産業 4.3% 第2次産業 29.3% 第3次産業 64.3%



三富開拓地割遺跡

● 活動地域の課題

町と協働で住民ワークショップを通して下記の地域課題を抽出している。

- 1) 健康福祉分野：(課題) 高齢化比率20%超で増加傾向。地区ごとに相互扶助による居場所が必要。
- 2) みどり環境分野：(課題) 開発や相続により年3～4ha 雑木林が減少。都市公園面積も1人当たり0.4㎡と少ない。
- 3) 都市安全分野：(課題) 治安の悪化、地域見守りの希薄化、歩道整備の遅れ、交通マナーの悪化。
- 4) 産業観光分野：(課題) ブランド力のある野菜がない。地産地消や遊休農地の活用が進まない。
- 5) 教育文化分野：(課題) 子どもの居場所が減少。家庭環境等で学習支援が必要な子が増加。
- 6) 協働全般：(課題) 協働のまちづくりの普及が不足し、協働メニューの公表と住民参加促進が必要。

● 活動の内容

(直近1年間の進捗など)

- 活動① ふれあいサロンの開設（高齢者の居場所づくり）
- 活動② 雑木林の整備・管理活動と公園紹介リーフレットの作成
- 活動③ 安全・安心マップの作成と活用

活動④ みよしっ子野菜市の定期開催と町のPR

活動⑤ 「こども学習広場」及び「児童館」の活動支援（子どもの居場所づくり）

活動⑥ 協働のまちづくり公開学習会の開催

● 活動の成果

・全体（活動の成果、地域内での反響・効果及び周辺への波及効果等について記入）

モデルプラン策定より2年が経過し、新たな活動展開も見えつつある。各活動で参加者が定着し、継続して事業展開が行なわれていることは一定の成果と言える。しかし今後の活動を考慮すると人材不足は否めない。

・直近1年間の成果など

活動① 藤久保地区にて「ふれあいサロン」を毎月第3土曜日に開催。町内のハーモニカ演奏者を招いたり、クリスマス会等を行い話題づくりをしている。口コミと継続的なチラシ配布により参加者が定着してきた。また、北永井地区にてサロン立上げのためのプレサロンを開催しアンケート調査を行った。今後サロンを開設する際、参考になる貴重な意見を得ることができた。



高齢者サロンで体操！！

活動② みどりのボランティアを募集し、役場周辺等の雑木林の整備作業を行っている。約40名の参加で防犯上も地球温暖化防止にも効果がある。また、町内の公園を調査し、住民目線の魅力や特徴を盛り込み、地域の公園に関心を持ってもらうための「おすすめ公園パンフレット」を作成し、公共施設に配置した。

活動③ 各小学校区を踏査し、交通や防犯上の危険箇所を白図に落とし、学校関係者にも検証を依頼し、安全・安心マップを作成した。完成したマップは、各小学校へ配布された。こどもたちに、危険箇所などの注意喚起が行なえる効果がある。



みよしっ子野菜市の様子

活動④ 町の顔づくりの一環として、三芳産の野菜の販売「みよしっ子野菜市」を毎月第4土曜日に開催している。農家への取材を行い、案内チラシに掲載し農家と消費の交流にも努めた。また、特産のさつまいもの紹介と町のPRのため「埼玉県B級グルメ王決定戦」や「ゆるキャラサミット in 羽生」に参加した。

活動⑤ 学習環境に恵まれない子どもを対象の「こどもの学習広場」の側面支援（ボランティア募集）を行うとともに、児童館支援活動を行い、児童館事業のサポートを行った。次年度より、学習支援活動の一環として「寺子屋」の開設を検討している。

活動⑥ 協働活動への住民参加層を広げるため「まちづくりフェア2011」の企画に取り組んでいる。また、まちづくりネットの活動情報をPRするため、まちづくりネットニュースを年2回町内全戸に回覧している。

● 今後の課題及び展望

・課題（活動を通して発見された課題等を記入）

活動① 活動の担い手の掘り起こしが難しい。

活動② 雑木林保全への関心は高いが、下草刈り等整備の必要性が理解されにくい。「おすすめ公園パンフレット」の活用・更新作業が必要。

活動③ 安全安心マップについて、地域の変化に伴って情報の更新作業を行う。

活動④ 野菜市の定期開催には更なる担い手の確保が必要である。

活動⑤ 実際の活動支援は、ヒト・モノ・カネの問題に直面し、解決が難しい。

活動⑥ 既存の各種住民活動（社会福祉協議会等のボランティア）との連携が難しい。

・展望（今後の取組みや検討について記入）

活動① サロンを町内に数カ所開設できるよう各地区の担い手を育成し、関係団体と連携しながら、要望のある他の地域でのサロン立ち上げに取り組みたい。

活動② 第1次整備終了後の雑木林では、植栽・林の活用・落ち葉掃きなどを行う予定である。

活動③ 安全マップは大きな変化の生じた小学校区より現地踏査を行うとともに、地域の声を盛り込んだ更新作業を行う。地域防災課題を解決するための新しい活動の検討を始める。

活動④ 野菜市の定期開催を軸に、交流やブランド化に向けB級グルメ参戦や料理コンテストなどの仕掛けづくりを行っていく。

活動⑤ 既存活動の支援を行いつつ、「寺子屋」の開設に向け企画を行う。

活動⑥ 他の公益活動とのネットワーク形成、地元の大学や企業との連携協力、寄付を含む財源の確保を検討する。

● その他（自由記述）

特になし